

葉山町議会議長
待寺 真司 様

2022年8月26日



加齢性難聴者への補聴器購入助成の速やかな検討を求める陳情

陳情の趣旨

2021年（令和3年）葉山町議会第1回定例会において「加齢性難聴者の補聴器購入に公的助成を求める陳情書」が提出され、全会一致で趣旨了承と議決されました。

内閣府高齢者白書（2020年度版）では、2020年の高齢化率は28.9%、2025年には30%を超えることが推計されています。葉山町でも高齢化率は32%と高い水準です。

加齢性難聴は認知機能を低下させるリスクを伴うという報告があり、また難聴により高齢者の社会参加がしづらい状況や、ひいては健康で文化的な生活を送ることが困難になると考えられます。

一方で、補聴器の価格は5万円～50万円となり、平均26万円（相模原市「補聴器購入へ補助を求める会」のアンケート調査）という報告もあり、高齢者への重い負担になっていることが伺えます。

高齢者補聴器購入助成は、愛川町で、日常生活の利便向上・心身の機能維持・自立促進を目的として、また、相模原市でも2022年7月より介護予防促進モデル事業として始まりました。

このように加齢性難聴への補聴器購入助成の流れは県内自治体でも強まっています。葉山町においてもニーズに応え、更なる検討を速やかに進めて頂くことを強く求めます。

